

# 千葉県・令和6年度及び令和7年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

- ・設問中に特に指定がない場合、「令和6年度の実績(令和7年3月31日現在)」の状況になります。
- ・四角内の数字は市町村数
- ・割合は54市町村を100%としたとき

問1. 貴市町村職員対象の認知症サポーター養成講座を実施していますか。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>39</b> 1. 実施している<br/>72% (2市町村増)</p> <p><b>3</b> 3. 検討中<br/>6% (1市町村減)</p> | <p><b>3</b> 2. 令和7年度以降に実施予定<br/>6% (4市町村減)</p> <p><b>9</b> 4. 実施していない<br/>17% (3市町村増)</p> |
|--|---|

4. と回答の場合、実施していない理由

- 人員不足
- 住民の方を優先的に講座を開催しているため

問2. 問1. で1. と回答した場合、講座の受講対象者をお答えください。(複数回答可)

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>4</b> 1. 全職員に実施<br/>7% (増減なし)</p> <p><b>4</b> 3. 認知症担当課職員に実施<br/>7% (1市町村増)</p> <p><b>6</b> 5. その他<br/>11% (3市町村減)</p> | <p><b>25</b> 2. 新規採用職員に実施<br/>46% (3市町村増)</p> <p><b>22</b> 4. 希望者を募って実施<br/>41% (8市町村増)</p> |
|--|---|
- 未受講の職員に実施 ●会計年度任用職員に実施

問3. 貴市町村において、職域別の認知症サポーター養成講座を実施していますか。(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>0</b> 1. 警察職員<br/>0% (3市町村減)</p> <p><b>11</b> 3. 金融機関<br/>20% (1市町村増)</p> <p><b>11</b> 5. 小売業<br/>20% (増減なし)</p> <p><b>25</b> 7. その他 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医療機関、保険会社、薬局、介護事業所、郵便局、福祉施設 など</span><br/>46% (4市町村減)</p> <p><b>7</b> 9. 職域別の講座を実施していない<br/>13% (3市町村増)</p> | <p><b>2</b> 2. 教員<br/>4% (増減なし)</p> <p><b>2</b> 4. 公共交通機関<br/>4% (2市町村減)</p> <p><b>1</b> 6. マンション管理人<br/>2% (2市町村減)</p> <p><b>19</b> 8. 住民対象のみ実施<br/>35% (1市町村増)</p> |
|---|--|

9. 回答の場合、実施していない理由

- 希望がなかったため
- 人員不足

## 千葉県・令和6年度及び令和7年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

問4. 貴市町村において、学生を対象とした認知症サポーター養成講座を実施していますか。  
実施している場合は、何校を対象に実施したのか、記載してください。(複数回答可)  
※複数校の生徒を1校に集めて開催した場合は、「1校」ではなく、参加した学校数を記載してください。

<p><b>40</b> 1. 小学生 <b>232</b> 校 74% (2市町村減・13校減)</p> <p><b>18</b> 3. 高校生 <b>28</b> 校 33% (3市町村増・4校増)</p> <p><b>7</b> 5. 専門学生 <b>7</b> 校 13% (増減なし・3校減)</p>	<p><b>20</b> 2. 中学生 <b>58</b> 校 37% (7市町村減・11校減)</p> <p><b>9</b> 4. 大学生 <b>12</b> 校 17% (増減なし・2校増)</p> <p><b>7</b> 6. 学生を対象とした講座を実施していない。 13% (増減なし)</p>
---	--

6. と回答の場合、実施していない理由

- 学校から応募がなかったため

問5. 認知症サポーターがボランティア等として活動するために、養成講座修了者に対し、フォローアップ講座の開催などの支援を実施していますか。

<p><b>24</b> 1. 実施している 44% (3市町村減)</p> <p><b>13</b> 3. 検討中 24% (1市町村減)</p>	<p><b>6</b> 2. 令和7年度以降に実施予定 11% (4市町村増)</p> <p><b>11</b> 4. ない 20% (増減なし)</p>
--	---

1. と回答の場合、具体的内容

- ステップアップ研修の名称で年4回実施(ロールプレイ等によりコミュニケーションの取り方等を修得する)。
- 地域包括支援センターごとに、ボランティアの交流会を実施しているほか、年1回市主催でフォローアップ研修会を実施している。
- 若年性認知症の当事者及びご家族との対談、認知症サポート医の講義
- 例年9月に2日間の講座を実施。1日目:認知症サポート医の講話 2日目:オレンジサポート員としての活動
- 認知症の理解と認知症の人への接し方、チームオレンジについて講義とグループワーク、認知症カフェの見学
- ステップアップ講座受講者がチームオレンジの自主活動につながるように、チームオレンジコーディネーターとチームオレンジの意義や役割の理解に関する講話、グループトークで「認知症の方への対応方法」を重点的に話し合う場を設定した。
- 介護予防関連ボランティアに対して実施している。
- 認知症ケア専門士、サポート医による研修会。

4. と回答の場合、実施していない理由

- チームオレンジの体制整備に向けて、ステップアップ講座を順次開催しているため。
- 実施するにあたり、ノウハウがないため。
- 他の認知症施策に係る事業を重点的に実施していたため。
- フォローアップまで実施できる体制が整っていない。
- 受講者に対しての名前などの情報をとりまとめているため。
- マンパワー不足のため。

## 千葉県・令和6年度及び令和7年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

問6. 貴市町村では、認知症サポーターの活動に対し、何らかの支援をしていますか。

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>21</b> 1. 実施している<br/>39% (3市町村増)</p> <p><b>8</b> 3. 検討中<br/>15% (5市町村減)</p> | <p><b>2</b> 2. 令和7年度以降に実施予定<br/>4% (増減なし)</p> <p><b>23</b> 4. 実施していない<br/>43% (2市町村増)</p> |
|---|---|

1. と回答の場合、具体的な内容

- ステップアップ講座修了者のうちボランティア活動を希望する者をリスト化し、チームオレンジの活動に生かしている(地域包括支援センターが地域の支援ニーズとボランティアの移行をそれぞれ把握しマッチングを行う)。
- 地域包括支援センター・オレンジカフェ運営者等がオレンジカフェでの活動を支援
- ステップアップ講座受講者のうち、希望する者は認知症地域支援推進員が活動につながるための支援を行っている。
- チームオレンジ立ち上げ支援や認知症カフェ等の活動の場のコーディネート
- オレンジ声かけ隊に対し、年1回の研修会を実施
- オレンジ協力員に対し、社会福祉協議会や地域包括支援センターの専門職による活動のマッチングや活動継続のためのフォローアップの実施
- サポーター活動時に適用される活動保障保険に加入し、活動を後押ししている。事業所に対しては、市HPでの紹介や認知症サポーターの存在を知らせるステッカーの配布をしている。
- チームオレンジで活動している認知症サポーターの後方支援として、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が定期的な訪問等を行っている。
- 年に2回認知症サポーターを集めて活動方法や事例検討会実施している。
- 認知症サポーターステップアップ講座修了者の交流会の開催、チームオレンジの立ち上げ支援

問7. 貴市町村では、企業や小・中学校等での認知症サポーター養成講座の開催に向け、キャラバン・メイトの活動の支援を目的とする独自の取組を実施していますか。  
具体例: 小・中学校(企業)向けの説明会の開催、広報周知活動、経費の一部補助など

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>16</b> 1. 実施している<br/>30% (3市町村減)</p> <p><b>5</b> 3. 検討中<br/>9% (増減なし)</p> | <p><b>1</b> 2. 令和7年度以降に実施予定<br/>2% (1市町村減)</p> <p><b>32</b> 4. 実施していない<br/>59% (4市町村増)</p> |
|---|--|

1. と回答の場合、具体的な内容

- 毎年、小中学校の校長会の場で認知症サポーター養成講座の開催について協力を依頼。
- 地域包括支援センターが圏域内の学校に講座開催を促す広報周知活動を実施
- 小・中学校に案内文を送付。
- 広報周知、サポーターカードの作成(市が作成費用を負担)
- キャラバン・メイト連絡会において、小・中学校や企業向けの講座開催に向けての説明や広報周知活動について協議している
- 養成講座の受講者に渡すロバ隊長のぬいぐるみを地域住民(ボランティア等)に作ってもらっている
- 小学校においては毎年市内全市立小学校の一学年を対象として実施することとしており、教育委員会にご協力いただき各学校とキャラバン・メイト(各包括、在支が中心)との日程調整を市が行い、年間計画表を作成している(6月から2月の間で実施)。教材等の配送や細かい調整は市が行い、教職員向け、キャラバン・メイト向けの開催マニュアルを作成し、配布している。中学校においては希望制にて同様に年間計画を立て実施している。

## 千葉県・令和6年度及び令和7年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

問8. 貴市町村独自でキャラバン・メイトスキルアップのための研修等(交流会、グループワーク等)を実施していますか。(県が実施するキャラバン・メイトスキルアップ研修に参加した場合を除く)

<p><b>10</b> 1. 実施している 19% (1市町村減)</p> <p><b>1</b> 3. 検討中 2% (2市町村減)</p>	<p><b>0</b> 2. 令和7年度以降に実施予定 0% (増減なし)</p> <p><b>43</b> 4. 実施していない 80% (3市町村増)</p>
--	---

### 1. 回答の場合、具体的な内容

- 1年おきにスキルアップ研修を開催(グループワーク中心)。
- キャラバンメイトや地域包括支援センター職員等が年2回参集し、意見交換を実施
- キャラバン・メイト、オレンジ・メイト交流会を開催
- チームオレンジ連絡会にてキャラバンメイト同士の意見交換の場を設けた。
- キャラバン・メイト連絡会を実施している。内容は年度ごとの活動報告や講座内容に関するグループワーク等。
- 市内の地域包括支援センター及び事業所で従事しているキャラバン・メイトを対象に、交流会を開催。市の認知症施策の実状や方向性について共有し、小学生向けの認知症サポーター養成講座の開催に向けての体制づくりについて協議できた。
- キャラバンメイト連絡会の実施。メイトの活動意欲の向上、情報共有を実施。
- 前年度講座開催状況報告、市認知症施策の周知、テキスト変更点の周知、小・中学生向け養成講座年間計画と担当メイトの決定、等

問9. 世界アルツハイマーデー(毎年9/21)や月間(毎年9月)の機会を捉えて認知症に関する普及・啓発イベントを実施していますか。

<p><b>48</b> 1. 実施している 89% (4市町村増)</p> <p><b>0</b> 3. 検討中 0% (1市町村減)</p>	<p><b>2</b> 2. 令和7年度以降に実施予定 4% (1市町村減)</p> <p><b>4</b> 4. 実施していない 7% (2市町村減)</p>
--	--

### 1. 2. 3. と回答の場合、イベントの具体的な内容

- イオンモールや市役所イベントスペースを活用して啓発イベントを開催。千葉ポートタワー及びモノレールセントラルアーチをオレンジ色にライトアップ。市内図書館に認知症関連書籍の特設コーナーを設置。
- オレンジカフェやSOSネットワーク・どこシル伝言板等を広報周知するパネル展を市内圏域ごとに実施
- 生涯学習センター(メディアパーク市川)入口で認知症の理解を深めるためのポスターを十数枚掲示
- 駅周辺にあるデジタルサイネージにて啓発ポスターの掲示
- 市民向け認知症サポーター養成講座、認知症家族交流会、船橋駅前に認知症啓発の横断幕を設置、地域で見守り声かけ体験inイオンモール船橋、オレンジフェスタinイオン津田沼、市民まつりにてメモリーウォークを実施。
- 館山城をオレンジ色にライトアップをしている。●図書館で認知症に関する本を配架している。
- 市役所や館山駅等でポスターを掲示している。
- 令和5年度よりオレンジ色の物を身に付ける、市ホームページ等で周知
- きさらづオレンジフェスタを9月に実施、認知症に関するポスター、メッセージカードの展示
- 市役所連絡通路にて、認知症の本人が制作した作品展や認知症の理解促進に向けたパネルの展示、パンフレットの配架、認知症に関するDVDの上映、認知症簡易チェックや意識調査、耳の聞こえのチェックを実施
- 成田山新勝寺や成田国際空港関連企業等との協働による、認知症に関する啓発活動「なりたオレンジプロジェクト」を令和4年度に発足し、世界アルツハイマー月間を中心に、市や各企業等が各々で認知症に関する啓発活動を行う。世界アルツハイマーデー(R6.9.21)には、市と協働企業等との合同による街頭での啓発活動(啓発うちわ配布)を実施。その他、成田市伝統芸能まつりへブースを出店し、認知症の啓発や相談を行った。
- 認知症に関するパネル展示。認知症専門医による講演、認知症大使による体験談の発表などを実施する認知症シンポジウムを開催
- 公共施設等で啓発物の設置。RUN伴いちはら2024(認知症の人と共に走る)。いちはら認知症あんしんフェスタ2024(専門職による相談等)
- 郵便局や配食弁当店等の協力を得て、配達用のバイクや車両にオレンジ色のステッカーを貼り付けオレンジデーを啓発している
- オレンジガーデンプロジェクトを実施。(オレンジ色の花苗を育て、それを配布して町民の自宅の庭等に植えてもらっている)

## 千葉県・令和6年度及び令和7年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

### 4. と回答の場合、実施していない理由

- 定期的に認知症に関する様々な事業を実施しているため
- 別イベントが入っているため、開催する余裕がない。

問10. 問9で1. 2. とお答えの場合、普及・啓発イベントで認知症の人本人からの発信の機会がありますか。

**15** 1. 機会あり  
28%  
(1市町村増)

千葉市、市川市、木更津市、松戸市、野田市、佐倉市、旭市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、印西市、いすみ市、多古町

**35** 2. 機会なし  
65%  
(2市町村増)

問11. 認知症予防に向けた住民向け健康講座などの事業を行っていますか。

**48** 1. 行っている  
89%  
(1市町村減)

**6** 2. 行っていない  
11%  
(3市町村増)

**0** 3. 令和7年度以降に実施予定 0%  
(2市町村減)

1. 3. と回答の場合、取組の具体的な内容(運動の場合は、運動名(コグニサイズ、100歳体操等)

- 体操(100歳体操、市町村独自のものなど)
- 介護予防教室
- 認知症予防教室・講座
- コグニサイズ
- パンフレットを用いた健康教育
- 出張健康教室
- 運動や脳トレを取り入れた5回コースの教室を実施

### 2. と回答の場合、実施していない理由

- 認知症予防の健康講座は、効果の測定が難しいため。
- 認知症予防だけに特化したものは行っていない。

問12. 認知症予防について、県に望む支援はありますか。(複数回答可)

**48** 1. 最新の情報提供  
89%  
(3市町村減)

**21** 2. 指導者の養成  
39%  
(増減なし)

**22** 3. 講師の派遣  
41%  
(1市町村減)

**6** 4. その他  
11%  
(3市町村増)

4. と回答の場合、必要とする支援の具体的な内容

- 認知症カフェへの補助金
- 地域の医師に対する認知症への理解促進、支援組織との連携強化
- 主体的に動ける人材の養成支援。

**千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)**

問13. 貴市町村において(認知症高齢者)徘徊見守りSOSネットワークができていますか。(令和7年4月1日時点)  
(複数回答可)

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>24</b> 1. できている<br/>44% (3市町村減)</p> <p><b>2</b> 3. 検討中<br/>4% (1市町村減)</p> | <p><b>31</b> 2. SOSネットワーク以外のネットワークの中で、<br/>(認知症高齢者)徘徊の見守りもしている<br/>57% (5市町村増)</p> <p><b>2</b> 4. できていない<br/>4% (2市町村増)</p> |
|---|---|

1. と回答の場合、その構成員(団体、職種等)

警察、消防、地域包括支援センター、介護事業所、社会福祉協議会、民生委員、バス・タクシー会社、コンビニ、郵便局、金融機関、保健所、生活協働組合、市内公共交通機関、防犯連絡協議会、…など

2. と回答の場合、具体的な内容

- 見守りネットワークの活用
- 新聞店、保険会社、小売店舗等の協力事業者による見守りを実施している。
- 市のメール配信サービスでの検索協力配信、みまもりあいアプリでの配信
- わんわんパトロール

4. と回答の場合、ネットワークが出来ていない理由

- 予算、人員不足
- 単身世帯などに対する民生委員による見守りはあるが、認知症に特化したものはない。

問14. 県からの行方不明高齢者の検索依頼があった場合、どのような対応をしていますか。(複数回答可)

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>11</b> 1. 県からの依頼範囲へFAX等で連絡<br/>20% (1市町村減)</p> <p><b>15</b> 3. その他 <input checked="" type="checkbox"/>関係課へ周知 <input checked="" type="checkbox"/>担当課で供覧<br/>28% (3市町村増)</p> | <p><b>30</b> 2. 認知症担当課のみで供覧<br/>56% (1市町村減)</p> <p><b>0</b> 4. 特に対応していない<br/>0% (増減なし)</p> |
|--|--|

問15. 千葉県警から「※情報提供書」を受け取りましたか。

※千葉県警の取組に認知症高齢者を警察署で保護した際に本人や家族の同意を得られた場合、「情報提供書」を作成し市町村に情報提供しています。提供された情報からケアプランの作成等に活かしてもらいます。

- |  |                            |
|--|----------------------------|
| <p><b>46</b> 1. はい <b>3269</b> 件数(年)(合計) 85%</p> | <p><b>8</b> 2. いいえ 15%</p> |
|--|----------------------------|

問16. 問15で1. とお答えの場合、受けた情報提供書からケアプランの作成等サービスにつながりましたか

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| <p><b>34</b> 1. ある <b>149</b> 件数(年)(合計) 63%</p> | <p><b>12</b> 2. いいえ 22%</p> |
|---|-----------------------------|

**千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)**

問17. 初期集中支援チーム以外で、認知症の早期発見・診断に対する支援を行っていますか。(複数回答可)

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>4</b> 1. 一般健診にもの忘れに関する項目を追加<br/>7% (3市町村増)</p> <p><b>23</b> 3. その他<br/>43% (2市町村減)</p> | <p><b>16</b> 2. チェックリストの配布<br/>30% (増減なし)</p> <p><b>16</b> 4. 行っていない<br/>30% (増減なし)</p> |
|--|---|

3. その他の具体的な内容

- もの忘れチェック事業の実施 ●もの忘れ相談
- DASC21を使った早期把握事業 ●認知症の啓発パンフレットの配布
- かかりつけ薬局による生活機能低下者発見事業 ●ケアパスの配布
- 地域包括支援センターでの相談
- 脳の元気度測定会
- 軽度認知症把握ケアマネジメント事業の実施 ●タブレット端末での認知機能判定
- 認知症ガイドブックの配布 ●認知症初期スクリーニングシステムの導入
- 一般介護予防事業
- ホームページ上に認知症初期スクリーニングセルフチェックシステムを導入
- 後期高齢者の質問票、総合相談

問18. 認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者に対し、認知症関係協議会や地域ケア会議に参加を求めるなどの連携はありますか。(県の認知症地域医療支援事業(認知症サポート医による普及啓発事業)は除く)

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <p><b>20</b> 1. ある (2市町村増)</p> | <p><b>34</b> 2. ない (2市町村減)</p> |
|--------------------------------|--------------------------------|

1. 回答の場合、具体的な内容 37% 63%

- 多職種連携会議、在宅医療推進連絡協議会、認知症施策推進会議、若年性認知症自立支援ネットワーク会議への参加
- 地域包括ケアシステム推進会議医療・介護専門部会の参加
- 認知症初期集中支援チーム検討委員会への出席
- 市が発行する認知症普及啓発パンフレットに、承諾が得られた医師は、認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者として掲載している
- 認知症施策推進検討委員会、自立支援型地域ケア会議への参加
- 地域のかかりつけ医向けの公開相談と自己研鑽を行う「認知症サポート医カンファレンス」に参加。
- 介護予防のための地域ケア会議に認知症サポート医に参加してもらうことがある。

問19(1). 貴市町村では、認知症疾患医療センターとどのような連携をしていますか。(複数回答可)

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>21</b> 1. 専門医療相談<br/>39% (5市町村減)</p> <p><b>13</b> 3. 初期集中支援チームへの支援<br/>24% (1市町村増)</p> <p><b>21</b> 5. 研修会等の開催<br/>39% (3市町村増)</p> <p><b>4</b> 7. 特に連携していない 7% (1市町村増)</p> | <p><b>27</b> 2. 紹介、受け入れ、入院等<br/>50% (2市町村減)</p> <p><b>19</b> 4. 圏域内の情報共有<br/>35% (3市町村減)</p> <p><b>8</b> 6. その他<br/>15% (3市町村増)</p> |
|--|---|

6. と回答の場合、具体的な内容

- ケアパス改訂版を作成するにあたり、相談にのってもらった。
- 研修会参加、情報共有をしている。相談事業(もの忘れ相談)への専門医の派遣。
- 認知症月間普及啓発イベントにてブース出展
- 協議会・事例検討会への出席

7. と回答の場合、連携していない理由

- 対象病院が近くにない
- 今のところ連携が必要な事例がない

**千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)**

問19(2). 貴市町村では、認知症疾患医療センターに何を期待しますか(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>49</b> 1. 専門医療相談<br/>91% (増減なし)</p> <p><b>29</b> 3. 初期集中支援チームへの支援<br/>54% (増減なし)</p> <p><b>33</b> 5. 研修会等の開催<br/>61% (3市町村減)</p> <p><b>0</b> 7. 特になし<br/>0% (1市町村減)</p> | <p><b>47</b> 2. 紹介、受け入れ、入院等<br/>87% (1市町村増)</p> <p><b>29</b> 4. 圏域内の情報共有<br/>54% (5市町村減)</p> <p><b>3</b> 6. その他<br/>6% (1市町村減)</p> |
|---|--|

6. と回答の場合、具体的な内容

- 市が開催する物忘れ相談(専門医への個別相談)への協力
- 地域の認知症サポート医の活動への助言や支援をしていただきたい。
- 疾患医療センターと地域の開業医との連携促進。開業医の認知症の理解促進。

問20. 若年性認知症の人と家族への相談や支援の窓口は決まっていますか。

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>17</b> 1. 窓口が決まっている 担当課 <b>関係課</b><br/>31% (2市町村増)</p> <p><b>36</b> 2. 窓口はないが、相談等があった場合は関係部署と協議して対応している<br/>67% (3市町村減)</p> <p><b>0</b> 3. 今後専用窓口を設置する予定である<br/>0% (増減なし)</p> <p><b>1</b> 4. 決まっていないし、特に対応もしていない 2% (1市町村増)</p> | <p>窓口 <b>若年性認知症支援コーディネーター</b><br/><b>市町村担当課窓口</b><br/><b>地域包括支援センター …など</b></p> |
|---|---|

問21. 若年性認知症の人が定期的に参加する場がありますか。(新規)

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <p><b>15</b> 1. ある<br/>28%</p> | <p><b>39</b> 2. ない<br/>72%</p> |
|--------------------------------|--------------------------------|
1. とお答えの場合、具体的内容を御記入ください。(つどいの開催や・会議への若年性認知症の人の参加等)

- つどいの開催(年1回のつどい、月1回のつどい)、千葉市若年性認知症自立支援ネットワーク会議への参加、認知症地域支援推進員研修への参加、若年性認知症向けではないものの本人ミーティングへの参加
- 認知症本人・家族ミーティング「つながるミーティング」の開催
- 社会福祉協議会主催で、集いの会(交流会)を開催している。
- 若年性認知症の方とは限定していないが、毎月認知症カフェを開催している。
- 地域包括支援センターでの活動
- 認知症カフェ

問22. 若年性認知症について市町村として相談に対応した事例はありますか。(地域包括支援センターの活動も含む)

- |                                       |                                       |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <p><b>33</b> 1. ある<br/>61% (増減なし)</p> | <p><b>21</b> 2. ない<br/>39% (増減なし)</p> |
|---------------------------------------|---------------------------------------|

**千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)**

問23(1). 認知症カフェの令和6年度の設置状況についてお答えください。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>49</b> 1. 設置済み<br/>91% (1市町村増)</p> | <p><b>5</b> 2. 設置していない<br/>9% (1市町村減)</p> |
|--|---|

2. と回答の場合、未設置の理由。

- 認知症カフェが中止となり、新たに認知症カフェの設置にまで至っていない。
- 認知症への対応について個別での相談対応で対応している。今後認知症カフェの設置ができればと検討中。

問23(2). 問23(1). で1. とお答えの場合、認知症カフェの内容についてお答えください。(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>39</b> 1. 茶菓・食事の提供<br/>72% (増減なし)</p> <p><b>6</b> 3. 健康チェックや医師による診断<br/>11% (2市町村減)</p> <p><b>26</b> 5. 囲碁将棋、編み物・工作<br/>48% (1市町村増)</p> <p><b>7</b> 7. 認知症の人本人による給仕<br/>13% (3市町村増)</p> | <p><b>35</b> 2. 専門職等による介護相談<br/>65% (1市町村減)</p> <p><b>29</b> 4. 生演奏、カラオケ・歌<br/>54% (1市町村増)</p> <p><b>33</b> 6. 散歩・体操<br/>61% (4市町村減)</p> <p><b>18</b> 8. その他<br/>33% (2市町村増)</p> |
|---|--|

8. と回答の場合、具体的な内容

- 認知症サポーター養成講座、医師等による講話、アロマ・ハンドケア
- こども食堂、スマホ教室
- 医師による講演会の開催、健康福祉まつりへの出店
- 畑作業、畑にて茶話会
- 脳トレ、情報提供

問24. 問23(1)で1. とお答えの場合、令和6年度までに若年性認知症の方が、認知症カフェに参加されたことはありますか。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>11</b> 1. ある<br/>20% (3市町村増)</p> <p><b>25</b> 3. 把握していない<br/>46% (増減なし)</p> | <p><b>13</b> 2. ない<br/>24% (2市町村減)</p> |
|---|--|

千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

問25. 認知症に関する相談窓口について、広報誌やホームページ等により周知を行っていますか。

54 1. 行っている

100% (増減なし)

0 2. 行っていない

0% (増減なし)

問26. 認知症の当事者(本人)の声を行政として聞き、施策に反映をしていますか。

9 1. している

17% (7市町村増)

45 2. していない

83% (7市町村増)

1. と回答の場合、具体的な内容

- アンケート調査を実施した結果を参考に、市の認知症施策推進計画を策定。
- 本人ミーティングを開催し、本人の希望を聞き、外出支援の取組みを実施。
- 認知症啓発イベントにおいて、当事者のことばや絵が描かれた本のしおりを来場者に配布。
- 若年性認知症自立支援ネットワーク会議に当事者に出席いただき、意見聴取。
- つながるミーティング(本人・家族ミーティング)や認知症まちづくりミーティングの開催、認知症地域支援推進員や認知症カフェに対し、オレンジひとことシートを用いて認知症のご本人の声を聴取を予定している段階であり、今後、施策へ反映させていく予定であるため。
- 認知症研究会を年3回開催し、委員(医療・福祉関係者等)より本人、家族の要望を伺いながら、施策反映に向けて検討している。
- 認知症家族の会に対する補助金の交付や、家族の会の集いの出席
- 当事者や家族の声から、認知症カフェの定期開催等の取組みに繋げている
- 圏域ニーズ調査等で把握している。

2. と回答の場合、その理由

- 必要だと感じているが、担当が本人の声を聞く場に出向くことが出来ていない。
- 当事者の声を聞く機会はあるが施策への反映には至っていない。
- 施策反映に至るほど、当事者の声を集められていない
- 「認知症」と診断を受けた方を抽出することが難しい。
- 認知症当事者の協力者が少ない中、協力してくれた認知症当事者の意見を反映していいのか疑問がある。
- 声を聴く機会を設けたり、個別支援の中で聞き取った声を政策に反映したりする人的・時間的余裕がない。
- 認知症の家族からは聞き取れるが、当事者から聞き取ることは難しいため

千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)

問27. 貴市町村内に家族会(本人や介護家族による組織)を設置していますか。(近隣市町村との共同設置も含む)

10 1. はい

19% (4市町村減)

44 2. いいえ

81% (4市町村増)

1. と回答の場合、具体的な構成メンバー、活動内容、活動頻度(回/年)等、会の形態

- 若年性認知症の人と家族、NPO、介護事業所職員などで年3~5回程度交流会を開催
- 構成メンバー: 家族の会、各包括SC等、認知症地域支援推進員、市職員 活動内容: 毎月1回1時間30分程度の認知症家族介護者と介護経験者の交流会の開催や、広報誌情報誌を通して認知症の啓発活動を実施している。さらに、事務局を窓口とした認知症の当事者や家族などの電話相談も随時対応している。
- 構成メンバー: 認知症当事者とそのご家族 活動内容: 悩みや思いを共有・情報交換【活動頻度】月1回程度
- 構成メンバー: 役員、世話人、会員 活動内容・頻度: 交流会(年4回)、イベント参加(年1回) 県交流会参加 等
- 介護施設内で家族会が定期開催されており、各地域包括支援センターで周知している。
- 構成メンバー: 介護を経験された方、活動内容: 交流会・勉強会(年6回)、認知症カフェへの協力。

問28. 継続的、定期的に認知症の人(本人)及び家族交流会が行われていますか。

25 1. はい

46% (1市町村減)

83

か所

頻度

662

回/年

22 2. いいえ

41% (2市町村減)

7 3. 把握していない

13% (3市町村増)

**千葉県・令和6年度及び令和7年度当初  
市町村における認知症施策に関するアンケート結果(令和7年10月実施)**

問29. 多職種協働研修を実施していますか。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>16</b> 1. 実施している<br/>30% (1市町村増)</p> | <p><b>38</b> 2. 実施していない<br/>70% (1市町村減)</p> |
|--|---|

1. と回答の場合、実施プログラム

<b>1</b> 県プログラム	<b>14</b> その他	●独自プログラム ●エーザイ(株)と共催 ●医師会主催の研修 ●在宅医療・介護連携推進事業として実施 ●認知症コーディネーターの会と共催による研修
-----------------	---------------	---

問30. 貴市町村独自の認知症に関する施策がある場合、施策の内容についてお答えください。(複数回答可)(新規)

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <p><b>24</b> 1. 認知症高齢者等見守り事業<br/>44%</p> | <p><b>12</b> 2. 補聴器購入助成事業<br/>22%</p> |
| <p><b>9</b> 3. 物忘れチェック事業<br/>17%</p>     | <p><b>13</b> 4. その他<br/>24%</p>       |
| <p><b>14</b> 5. ない<br/>26%</p>           |                                       |

4. とお答えの場合、具体的な内容を御記入ください

- 認知症高齢者等見守りシール交付事業、市民向け動画をYouTubeで公開(認知症対応力向上研修)など
- フレイル・ロコモティブシンドロームを予防する総合的なプログラムを行う介護予防教室の実施。問9記載のなりましたオレンジプロジェクトの実施
- 認知症の普及啓発にむけ、市内各所にオレンジ色のベンチを設置(オレンジベンチの取り組み)
- 介護予防教室「頭の元気トレーニング」を独自プログラムで実施
- 希望者に「ONSEI」アプリをスマートフォンにインストールしてもらい、自宅でも気軽に認知機能のチェックや脳トレができる支援を行っている。
- 認知症サポート医から学ぶ学習会、個別相談会
- 徘徊探知システム

問31. 認知症施策の推進に関し、県への要望等がありましたら御記入ください。(任意)

- 県内の認知症カフェ運営者や自治体担当者の情報交換や連携を促進するプラットフォームの構築や研修会の開催。
- 先進事例の紹介
- 認知症施策推進計画の整備状況について県の方針(策定の予定はあるか)、県内市町村の進捗状況などまとめていただきご提供いただけると計画策定に役立ちます。
- また、若年性認知症の人の家族会から、市に対して補助金の要望があります。若年性認知症の施策を市独自で実施することは、対象者の少なさの点でも現実的でないこと、市内で実施している交流会は市外からの参加者も多いことなどからも、県で家族会に対する補助などに応えていただきたいと強く感じています。
- 市町村の認知症施策担当者同士が情報共有できる場(会議等)があるとありがたいです。
- 医師会や医師会に未加入の医師の協力が得やすい環境や体制づくりにご協力いただきたいです。
- 人員・予算も少ない中、市町村の実施内容は年々増加し、さらに様々な制度が複雑化しており、事業実施、事務処理が非常に煩雑になっている。制度設計及び事務処理を簡便にすることを国に対して要望すること、各種調査には十分な期間を設けること、各種補助を充実させることを望む。
- 認知症サポート医資格取得の促進と市認知症施策への協力依頼
- 認知症への正しい理解の普及啓発の支援をお願いできたらと思います。(啓発物品など)